

帰っても楽しい! キッズプラザ大阪の 学びや育ちを支える工夫例

～保育所(園)・こども園・幼稚園での環境づくりのヒント～

3階 創作工房

**Q.制作遊びをするときの
素材や環境の工夫は?**

A. ◀好きな毛糸を自由に選べるように、逆さまにしたペットボトルに毛糸を入れて並べています。

POINT
毛糸を黄色のラインまで引っ張り、ハサミで切ると、1回分が同じ長さになるように工夫しています。

A. ▼つくり方の手順を視覚的に示しています。

紙と毛糸を使った織り遊び

4階 ライブラリー

**Q.絵本ってどうやって
並べたらいいの?**

A. ▼絵本の表紙が見えるように面展台にならべると、一目で何の絵本かわかり、手に取りやすくなります。

A. ▼絵本の内容によってマークで分類すると片づけやすくなります。

5階 自然・科学コーナー

**Q.自然物を使った遊び
のとりいれ方は?**

A. ◀公園でひろってきたまつぼっくりや木の枝を使って楽しい遊びが生まれます。

リスが食べたまつぼっくり。形がエビフライに似ているよ。

・まつぼっくりつり
・リスのエビフライさがし

**Q.生き物の観察をする
ときの工夫は?**

A. ▼生き物を見やすいように置き方を工夫し、図鑑や絵本、虫メガネなどを用意することで興味・関心が広がります。

メダカの飼育

ほねの標本

こたえはニワトリ!

このホネ↑
だあれ?

キッズプラザ大阪の体験と小学校生活へのつながり

キッズプラザ大阪の遊びや活動は、保護者や友達と触れ合うなかで人と関わりながら、相手の気持ちを考え、自分が役に立つ喜びを実感し、地域に親しみをもつことにつながっています。子どもたちが、遊びや生活に必要な情報を取り入れながら、情報を伝え合い、情報を役立てながら社会とのつながりを意識することができるよう環境構成も工夫されています。また、数量や図形、文字や標識などに親しむ経験を通して、標識や文字の役割に気付き、必要性を感じながらこれらを活用して興味や関心を高めることにつながっています。キッズプラザ大阪では、幼児期の教育・保育と小学校教育の接続を意識した活動が展開されています。

大阪教育大学
表現活動教育系
初等教育部門
松井 祐 教授
Yu Matsui

「園外保育のヒント集 遊びに生きる子どもたち」2022年10月 初版発行 発行：一般財団法人 大阪教育文化振興財団 キッズプラザ大阪 〒530-0025 大阪市北区扇町2-1-7 TEL:06-6311-6601

キッズプラザ大阪は
子どもが主人公!

ワクワク・ドキドキの
体験が待っています!

**園外保育の
ヒント集**

遊びに生きる子どもたち



キッズプラザ大阪は、「遊びながら学ぶ」をテーマとして、見て触れて体験ができる展示とプログラムを融合させたチルドレンズ・ミュージアムです。子どもたちが実際に「やってみる」ことを出発点として、身近なことから興味や発見を感じることができるよう、展示やプログラムを工夫しています。この冊子は、就学前の子どもを対象とした当館での園外保育(遠足)をより一層充実していただくためのヒント集です。小学校低学年の児童にもご活用いただけますので、参考にしてください。